

お弁当の日



お弁当の日は、なぜするの?

- 【目的】 1 家庭科の発展学習とする。
- 2 家庭で親子の会話を多くする。
- 3 食事を作る楽しさを味わう。
- 4 作る人の工夫や苦労を知る。
- 5 食材の買い物をすることで、食品の流通や物価を知る。
- 6 友達同士の会話を多くする。
- 7 食品への関心を高める。
- 8 小学校や中学校時代に数多くの食事の準備などを経験させ、将来一人暮らしをするようになったとき困らないようにする(特に現代の若い人は、コンビニ生活といわれており、健康の害が心配である)。



【対象】 村松小学校 5・6年生

【時期】 月1回 (10月～) 年3～4回

家庭科の調理実習でご飯の炊き方、おかずの作り方などを学習する。

ボランティアグループ「まちづくり 笑」主催で、竹下和男先生を講師に「お弁当の日」の講演会が開催されました。
大友光男校長が感銘を受け、舟石川小学校校長時代に「お弁当の日」を実践しました。
村松小学校では、大友校長が赴任した昨年度より、各家庭と先生方の協力を得て実施しています。



献立考え、食材選び。 おかず見せ合い笑顔で会話。

子どもたちの美味しそうなお弁当に、とても驚きました。

それそれが個性的なお弁当ばかりで、見ているだけでも楽しめました。

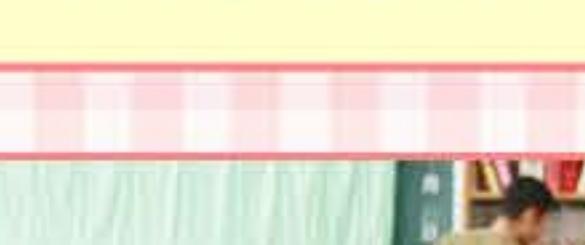
校長先生や担当の先生、担任の先生も美味しいお弁当を作っていました。

手作りのお弁当を囲んでお友達と過ごす昼食の時間は、とても楽しそうでした。

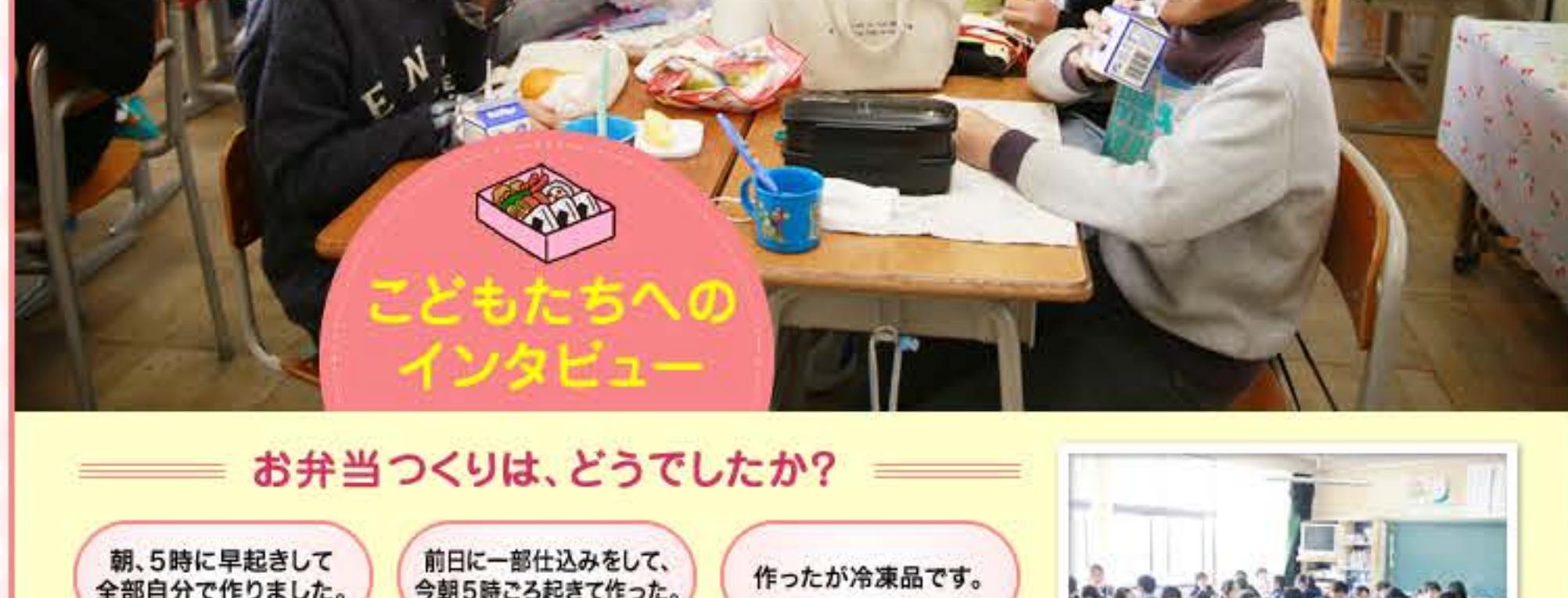
そんな子どもたちの目の輝きを見て、生きる力を感じることができました。



こどもたち自慢のお弁当



● ● ● ● ● ●



こどもたちへの インタビュー

お弁当つくりは、どうでしたか?

朝、5時に早起きして全部自分で作りました。

前日に一部仕込みをして、今朝5時ごろ起きて作った。

作ったが冷凍品です。

7割ぐらい作りました。

ほとんどお母さんが作りました。

自分で作ったので、美味しいです。

味付けがうまくいきました。

卵焼きが上手になりました。

お父さんのお弁当も作りました。

お弁当作りは楽しいです。

お母さんに教わって作りました。

3回目なので上手になりました。

少し寝坊したので、急いで作りました。

全部自分でつくりました。

お弁当を作り、料理が好きになりました。

ご飯も上手に炊けました。

料理を作る大変さがわかりました。

バランスよく作れました。

お母さんが作りました。

半分ぐらい自分で作りました。

初めて買い物に行きました。

お弁当作りの大変さがわかりました。

兄弟の分も一緒に作りました。

すごく大変だったけど、がんばって作りました。

